

# 日本都市学会ニュース NO. 53

2022. 3. 20

発行 日本都市学会 〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 東洋大学社会学部西野淑美研究室内  
 <事務局長> 熊田俊郎 <e-mail>info@toshigaku.org <ホームページ>http://www.toshigaku.org/  
 郵便振替 00130-0-512255 日本都市学会本部事務局

## 日本都市学会第 68 回大会を オンラインで開催しました

日本都市学会第 68 回大会は、2021 年 10 月 23 日（土）・24 日（日）に、新型コロナウイルス感染対策を考慮し、オンライン大会として開催されました。

【10 月 23 日（土）】13:00 より、日本都市学会浦野正樹会長の開会挨拶と、主催地域学会である近畿都市学会の山崎健会長の挨拶が行われました。

続いて 13:10 から、ご後援をいただいた尼崎市の稲村和美市長に特別講演「ひと咲き まち咲き あまがさき—ありたいまちの実現に向けて」を行っていただきました。

そして 13:50 より、「ラストベルト産業都市の再生と進化」と題して、シンポジウムが開催されました。オーガナイザーの加藤恵正氏（兵庫県立大学教授）の趣旨説明に続き、シンポジストの今井良広氏（兵庫県丹波県民局長）、定藤博子氏（阪南大学准教授）、水方秀也氏（㈱竹中工務店 開発計画本部長（西日本担当））、森山敏夫氏（尼崎市副市長）からそれぞれ報告を実施していただきました。その後には、コメンテーターの久隆浩氏（近畿大学教授）のコメントをふまえ、ディスカッションが行われました。

16:45 からは、2021 年度の日本都市学会各賞の授賞式が行われ、学会賞（奥井記念賞）受賞者の五十嵐泰正氏、論文賞受賞者の佐藤将氏、特別賞（まちづくり賞）受賞者の北原啓司氏への賞状の授与と、受賞者 3 名からのスピーチがありました。

引き続き 17:05 より、日本都市学会 2021 年度総会が開催されました。

【10 月 24 日（日）】9:30 から、研究報告が行われました。近畿大学東大阪キャンパスと神戸学院大学有瀬キャンパスの 2ヶ所にサイトを設け、研究報告の運営を行いました。報告プログラムは午前 3 セッション、午後 3 セッションで、合計 36 の報告がありました。

主催の近畿都市学会の大会事務局には、2 年連続となるオンライン大会の開催にあたって、尼崎市との調整や「大会特設サイト」を設置しての情報提供など、準備に尽力していただくとともに、大会当日

は近畿大学に本部を設置して運営にあたっていただきました。研究報告のセッションにはそれぞれ技術サポーターが付くなどの工夫もあり、トラブルもなくスムーズに大会が運営されました。関係各位には厚く感謝申し上げます。

皆さまのご協力のお蔭をもちまして、日本都市学会第 68 回大会を無事に開催することができました。心から感謝申し上げます。

## 第 69 回大会は名古屋市で開催します

第 69 回大会は、2022 年 10 月 29 日（土）・30 日（日）に、名古屋学院大学名古屋キャンパスを会場に、「グローバル社会における都市の脆弱性と“新常态”の模索」（案）をテーマとして開催される予定です。

## 日本都市学会特別賞に外国語著作賞が 新設されました

日本都市学会特別賞（外国語著作賞）は、都市研究の功績を記念し、外国語（英語）で記され、国内外幅広く都市研究の進歩発展ならびに顕著な貢献をしたものを表彰することを目的として、2021 年度の総会において新設が承認されました。表彰の対象は、日本都市学会個人会員の英文の著書（共著の場合は著者の全員が日本都市学会個人会員であること）で、表彰年次の 3 年前の 1 月 1 日より前年の 12 月 31 日までの 3 年間に刊行されたものです。応募は各地域都市学会の推薦によります。選考規程は本学会ホームページの「会則・規則等」をご覧ください。

## 2021 年度日本都市学会賞等が決まりました

### 日本都市学会賞（奥井記念賞）

五十嵐泰正氏（関東）『上野新論——変わりゆく街、受け継がれる気質』せりか書房、2019 年 12 月発行

選考理由：本書は、著者の約 18 年にわたる継続的なフィールドワークに基づいて、上野という複雑な

町を、複雑さを損なわずに描こうとした都市社会学の貴重なモノグラフである。“半径 500m 程度の範囲内”に、各地区の多彩な顔、歴史的位相の重なり、多様なエスニシティの交錯といった多くの都市的な要素が凝縮されているさまを立体的に厚く描き出す本書は、国内外の都市社会学の蓄積を踏まえた研究といえる。展開される議論は、商店会・観光連盟・まちづくり協議会等の地域の組織での長年の参与観察と無数のインタビューを柱にしている。また、グローバル化や表象としての「下町」を論じる現代社会論としての側面、街のアイデンティティと内部の多様性の両立や、異質性に関したコミュニティのあり方などを実践的に掘り下げる側面も持つ。さらに学術専門書としての価値だけではなく、地域としての「上野」に関心のある市民を引き付ける要素も持ちうる。

選考委員会では、本書が都市に関する独創的な研究、調査であること、長年にわたる蓄積の成果が、わが国都市研究に大きな貢献をもたらしているものであることが高く評価され、日本都市学会賞（奥井記念賞）の授賞条件を、十分に満たしていると判断した。

## 日本都市学会論文賞

佐藤将氏(関東)「大都市圏近郊における完結出生力の空間構造—川崎市を事例に—」『日本都市学会年報』第 52 号、197-206、2019 年 5 月

**選考理由：**川崎市を事例として、完結出生力の空間構造と要因の分析が統計学的に詳細に行われており、既存研究に残る課題に対して新たな視角・方法が示されている。地域ごとに要因の構造が異なることを明示し、地域事情に即した支援（例えば、駅周辺での住宅購入支援や出生力の低い地域での教育費の負担軽減）を展開すべきとの結論が明快に導き出されており、本論文は高く評価された。

## 日本都市学会特別賞（まちづくり賞）

北原啓司氏(東北)「コミュニティ FM によるまち育ての継続的実践—20 年を超える FM 番組『まち育てない』の取り組み」

**選考理由：**まちづくりに関わる学術の発展は、研究室や学会での活動だけにとどまるものではない。新しいアイデアや手法を一般市民にも分かるよう平易な表現で伝え、関心をもってもらい、次世代の担い手を育てるといったアウトリーチ活動もその一環である。北原氏は建築や都市計画の専門家である一方で、かねてから「まち育て」をキーワードに「教育」を重視し、まちづくりを実践してきた。番組制作だけでなく、当該コミュニティ FM の開設にも関与した北原氏は、キャンパス内外から弘前のまちづ

くりに関わり、様々なかたちで学生、行政職員、その他市民をまちづくりに結びつけてきた。20 年という長期間にわたって FM 番組をゼミ生や専門家・非専門家を交えて制作し人びとに働きかけたこと、さらにその前提として、より長きにわたって弘前に関わりつづけていることから、受賞するにふさわしいと評価した。

なお、日本都市学会特別賞（学術共同研究賞）の該当はありませんでした。

## 日本都市学会 2021 年度総会報告

2021 年度日本都市学会総会は、2021 年 10 月 23 日（土）17:05 からオンラインで開催されました。近畿都市学会山崎健会長を議長に選出して、以下の 6 議案が審議されました。その結果、いずれも異議なく原案どおり議決されました。また引き続いて、5 件の報告がなされ、いずれも承認されました。総会の参加者は 45 名でした。

議案 1 2020 年度事業報告  
議案 2 2020 年度決算  
議案 3 2021 年度事業計画  
議案 4 2021 年度予算  
議案 5 理事の承認  
議案 6 日本都市学会会則改定について

報告 1 2021 年度日本都市学会賞等について  
報告 2 日本都市学会第 69 回大会について  
報告 3 日本都市学会倫理委員会委員について  
報告 4 規程の制定および改定について  
報告 5 日本都市学会会員数の状況

以下、議事録を再録します(誤記は修正しました)。

### 議案 1 2020 年度事業報告

#### (1) 日本都市学会第 67 回大会の開催

開催日時 2020 年 10 月 31 日(土)~11 月 1 日(日)  
開催学会 近畿都市学会  
開催会場 近畿大学東大阪キャンパス、神戸学院大学有瀬キャンパス  
開催テーマ「新型コロナ感染状況下で生きる—都市／大学（教育研究）／市民生活—」  
新型コロナウィルス対策のため、オンライン大会で開催されました。

#### (2) 日本都市学会年報の発行

VOL.53「地方中枢都市の課題と展望」  
(2020 年 5 月発行)

#### (3) 論文審査委員会

研究発表会終了後、論文審査作業の開始

**(4) 日本都市学会賞の選定**

2020年4月 推薦等締め切り

2020年9月 選考委員会開催、同日第2回理事会  
において決定

2020年10月31日 大会において授賞式

**(5) 日本都市学会総会の開催**

2020年10月31日(土) 16:45から、オンラインで開催されました。「日本都市学会倫理綱領」、「日本都市学会会則改訂」の重要議案を含む9議案が審議されました。その結果、いずれも異議なく原案どおり議決されました。

**(6) 理事会の開催**

第1回理事会(2020年6月28日)

2019年度事業報告・決算案、2020年度事業計画・予算案、第67・68回大会予定、各事務局からの報告他 なお、新型コロナウイルス対策で、リアル会議とZoomによる遠隔会議の併用形式で開催

2020年度臨時理事会(2020年8月11日)

2020年度オンライン大会の持ち方について 完全遠隔会議で開催

第2回理事会(2020年9月13日)

2020年度学会賞・論文賞等の決定、第67回大会予定、各事務局からの報告他 リアル会議とZoomによる遠隔会議の併用形式で開催

第3回理事会(2020年10月28日)

総会提出議案の決定、第67回大会直前確認事項、第68回大会予定、各事務局からの報告他 完全遠隔会議で開催

第4回理事会(2021年3月28日)

2020年度事業報告・決算見込、2021年度事業計画・予算案、第67回大会報告、第68回大会について、各事務局からの報告他 リアル会議とZoomによる遠隔会議の併用形式で開催

**(7) 日本都市学会の運営課題を検討する調査委員会の開催および報告・提案**

4回の調査委員会を踏まえ、理事会に報告・提案がなされ、最終的に総会の議案・報告として決定されました。「日本都市学会倫理綱領」および「日本都市学会会則改訂」はそれぞれ「議案8」および「議案9」に提案されました。「調査委員会報告」および「日本都市学会倫理委員会規定」は総会のそれぞれ「報告4」および「報告5」として報告されました。

**(8) 日本都市学会ニュースの発行とホームページのメンテナンス**

日本都市学会ニュース No.50 2020年8月20日

日本都市学会ニュース No.51 2020年12月5日

**議案2 2020年度決算**

(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

収入の部(2020年度) (円)

科目	予算	決算
学会会費(当該年度分)	1,900,000	1,805,400
学会会費(過年度分)	0	94,200
年報売上高	630,000	683,000
雑収入	70,000	111,047
前年度繰越金	978,073	978,073
計	3,578,073	3,671,720

支出の部(2020年度) (円)

科目	予算	決算
大会関係費	500,000	0
理事会・常任理事会関係費	700,000	151,040
論文審査委員会関係費	50,000	3,330
年報関係費	1,250,000	1,131,076
(VOL.53)	(1,150,000)	(1,131,076)
(VOL.54)	(100,000)	(0)
学会賞関係費	100,000	37,455
事務局経費	500,000	181,138
備品費	10,000	0
雑費	60,000	3,000
予備費	408,073	0
次年度繰越	0	2,164,681
計	3,578,073	3,671,720

正味資産の部

資産(2021年3月31日現在残高)

郵便振替口座	¥ 873,042
三菱東京UFJ銀行奈良支店	¥ 1,289,861
手持ち現金	¥ 1,778
計	¥ 2,164,681

負債 なし

**議案3 2021年度事業計画****(1) 日本都市学会第68回大会の開催**

開催日時 2021年10月23日(土)~24日(日)

開催学会 日本都市学会・近畿都市学会

後援 尼崎市

開催形式 ZOOMによるオンライン開催

テーマ「ラストベルト産業都市の再生と進化」

**(2) 日本都市学会年報の発行**

VOL.54「新型コロナ感染状況下で生きる」

(2021年5月発行)

**(3) 論文審査委員会**

研究発表会終了後、論文審査作業の開始

**(4) 日本都市学会賞の選定**

2021年4月 推薦等締め切り

2021年9月 選考委員会開催、同日第2回理事会  
において決定

2021年10月23日(土) 大会において授賞式

**(5)日本都市学会総会の開催**

2021年10月23日(土)

**(6)理事会および常任理事会の開催**

第1回理事会(2021年6月)

2020年度事業報告・決算案、2021年度事業計画・予算案、第68・69回大会予定、各事務局からの報告他

第2回理事会(2021年9月)

2021年度学会賞・論文賞等の決定、第68回大会予定、各事務局からの報告他

第3回理事会(2021年10月)

総会提出議案の決定、第68回大会直前確認事項、第69回大会予定、各事務局からの報告他

第4回理事会(2022年3月)

2021年度事業報告・決算見込み、2022年度事業計画・予算案等、第68回大会報告、第69回大会予定、各事務局からの報告他

**(7)日本都市学会ニュースの発行とホームページのメンテナンス**

日本都市学会ニュース No.52 2021年7月

日本都市学会ニュース No.53 2021年12月

**議案4 2021年度予算**

(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

収入の部

科目	2020年度	2021年度
学会会費(当該年度分)	1,900,000	1,900,000
学会会費(過年度分)	0	0
年報売上高	630,000	630,000
雑収入	70,000	70,000
前年度繰越金	978,073	2,164,681
計	3,578,073	4,764,681

支出の部

科目	2020年度	2021年度
大会関係費	500,000	500,000
理事会・常任理事会関係費	700,000	700,000
論文審査委員会関係費	50,000	50,000
年報関係費	1,250,000	1,250,000
(VOL.54)	(1,150,000)	(1,150,000)
(VOL.55)	(100,000)	(100,000)
学会賞関係費	100,000	100,000
事務局経費	500,000	500,000
備品費	10,000	10,000
雑費	60,000	60,000
予備費	408,073	1,594,681
計	3,578,073	4,764,681

**議案5 理事の承認**

(1)支部会長理事

松村茂(東北)、大矢根淳(関東)、井澤知旦(中部)、山崎健(近畿)、平篤志(中四国)、外井哲志(九州)

(2)支部選出理事

増田聡(東北)、熊田俊郎(関東)、西野淑美(関東)、磯部友彦(中部)、石田信博(近畿)、佐藤彰男(近畿)、川瀬正樹(中四国)、山下宗利(九州)

(3)会務担当理事

森傑(北海道)、齊藤綾美(東北)、土居洋平(関東)、大塚俊幸(中部)、佐野光彦(近畿)、川田力(中四国)、石川雄一(九州)

**議案6 日本都市学会会則改定について**

日本都市学会会則改定

新	旧
第5条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。 (9) 日本都市学会特別賞(学術共同研究賞・まちづくり賞・外国語著作賞)の選定	第5条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。 (9) 日本都市学会特別賞(学術共同研究賞・まちづくり賞)の選定

**報告1・2・3 (省略)** ※本紙関連記事参照

**報告4 規程の制定および改定について**

**(1) 日本都市学会特別賞(外国語著作賞)の制定(2021年9月26日第2回理事会決定)**

日本都市学会特別賞(外国語著作賞)選考規程(目的)

第1条 日本都市学会特別賞(外国語著作賞)は、都市研究の功績を記念し、外国語(英語)で記され、国内外幅広く都市研究の進歩発展ならびに顕著な貢献をしたものを表彰することを目的とする。

(表彰の対象)

第2条 表彰の対象は、日本都市学会個人会員の英文の著書(共著を含む)とする。共著の場合、著者の全員が日本都市学会個人会員であることとする。

2 過去に受賞した著者(共著を含む)を含む著書は対象としない。

3 推薦著書は表彰年次の3年前の1月1日より前年の12月31日(奥付記載日)の3年間に刊行されたものとする。

(応募の方法)

第3条 日本都市学会特別賞(外国語著作賞)の応募は、各地域都市学会の推薦による。

2 毎年、各地域都市学会が推薦できる候補は1点とする。著者名・書名・出版社名・出版年月日・定価を明記のうえ、現物および所定の様式による推薦理由書を添えて、指定日時までに学会賞事務局に通知、送付する。

3 学会賞事務局は各地域都市学会から推薦のあった著書を全地域都市学会に通知する。

4 地域都市学会による推薦の決定は各地域都市学会の取決めによって行うものとする。

(選考委員会)

第4条 日本都市学会特別賞(外国語著作賞)選考委員会(以下「選考委員会」という)を設け、理事会に推挙する著書を決定する。

2 選考委員会の構成は、理事(各支部1名)および選考委員たる理事の指名する者とする。なお選考委員のほか外部の査読者を置くことができる。

3 選考委員会は、互選により選考委員長を選ぶ。

(選考の基準)

第5条 次の1または2以上の要件に該当するものを授賞の対象として選考する。

(1) 都市に関する独創的な研究、調査であること  
(2) 国際的な都市研究において、画期的な意義を有するものであること

(3) 都市研究の新しい分野において、とくに優秀な業績と認められるものであること

(4) 長年わたる蓄積の成果が、国際的な都市研究に大きな貢献をもたらしているものであること

(5) その他、都市研究の進歩発展のため意義があると認められるものであること

(授賞対象の決定)

第6条 授賞対象は、選考委員会の報告に基づき、日本都市学会理事会において決定する。

2 理事会において決定する授賞対象の著書は、原則として1点とする。

(表彰)

第7条 表彰は、原則として年次大会において行う。

2 受賞者には賞状を贈る。

付則1 本規程は2021年10月23日から施行する。

## (2) 日本都市学会諸規程・申し合わせの改定

2021年9月26日の第2回理事会において、2020年10月31日の日本都市学会総会における会則改定に伴い、次の規程等の改定、廃止を決定しました。詳しくはホームページ等でご確認ください。

改定したもの

- ・「日本都市学会の役員の時任時期について」
- ・「日本都市学会会長の選出方法について」
- ・「日本都市学会各機関の役割」
- ・「日本都市学会賞(奥井記念賞)選考規程」
- ・「分担事務局体制規程」を「分担事務局および組織に関する規程」と名称変更し、改定を行ないました。
- ・「常任理事に関する規程」を廃止しました。

## (3) 日本都市学会諸規程の改定について

次の諸規程の改定を行ないました。下線部は改定部分。

- ①日本都市学会特別賞(学術共同研究賞)選考規程(応募の方法)

第3条 表彰の対象となる業績があった地域都市学会は、著者名・書名・出版社名・出版年月日・定価を明記のうえ、現物および推薦理由を添えて、指定日時までに学会賞事務局に通知、送付する。

2 学会賞事務局は各地域都市学会から推薦のあった著書を全地域都市学会に通知する。

3 地域都市学会による推薦の決定は、各地域都市学会の取決めによって行うものとする。

(選考委員会)

第4条 日本都市学会特別賞(学術共同研究賞)選考委員会(以下「選考委員会」という)を設け、理事会に推挙する出版物等を決定する。

2 選考委員会の構成は、日本都市学会賞(奥井記念賞)の規程に準ずる。

3 選考委員会は、互選により選考委員長を選ぶ。(授賞対象の決定)

第5条 授賞対象は、選考委員会の報告に基づき、日本都市学会理事会において決定する。

2 理事会において決定する授賞対象は、原則として2点以内とする。

第6条 表彰は、原則として年次大会において行う。

2 受賞者には賞状を贈る。

## ②日本都市学会論文賞選考規程

(表彰の対象)

第2条 表彰の対象は、日本都市学会個人会員で、日本都市学会年報または地域都市学会発行の学術誌に掲載された単著論文の著者あるいは共著論文の第一著者であって論文発行時に39歳以下の者とする。

2 前項に定める年齢を確認するために、論文投稿者は論文送付状に生年月日を記載するものとする。

3 過去に日本都市学会賞(奥井記念賞)または日本都市学会論文賞を授賞した著者は対象としない。

4 対象とする論文は、表彰年の前々年の1年間に掲載された論文とする。

なお改定された会則、諸規程等は、理事による確認を経て、今後10日前後で学会ウェブサイトに掲載し、来年度発行の年報に掲載するとの報告があった。

## 報告5 日本都市学会会員数の状況

日本都市学会 地域都市学会別会員数の推移

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
北海道	7	7	8	9	9	8
東北	78	82	66	65	60	58
関東	151	148	149	141	134	130
中部	87	91	92	90	86	84
近畿	157	160	153	149	137	132
中四国	48	42	43	43	47	45
九州	72	67	61	67	63	63
本部	1	1	1	1	1	1
合計	601	579	573	565	537	521

## 2021 年度第 2 回理事会報告

2021 年度第 2 回理事会は、2021 年 9 月 26 日(日) 13時から Zoom によるオンライン会議で開催されました。

出席者は、浦野正樹会長、増田聡、松村茂、熊田俊郎、大矢根淳、西野淑美、井澤知旦、磯部友彦、佐藤彰男、山崎健、平篤志、川瀬正樹、外井哲志、山下宗利、齊藤綾美、土居洋平、大塚俊幸、佐野光彦、川田力、石川雄一の各理事です。

議事の概要は以下のとおりです。

### 議題 1 2020 年度事業報告、決算

本部事務局より 2020 年度事業報告案および 2020 年度決算報告案について、第 1 回理事会報告からとくに変更がないことが報告されました。

### 議題 2 2021 年度事業計画、予算

本部事務局より 2021 年度事業計画案および 2021 年度予算案について、第 1 回理事会からとくに変更がないことが報告されました。また大会開催費予算の執行について、これまで開催都市学会に予算を移し大会事務局で会計を行なってきました。今年度大会はフル・オンラインとなるので、本部会計で必要経費の精算を行なう方向で調整することになりました。また対面による通常大会が開催されるときには、従来の予算執行方式に復することが確認されました。

### 議題 3 学会賞事務局関係

各学会賞選考委員会からの推薦に基づき、2021 年度日本都市学会賞(奥井賞)として、五十嵐泰正『上野新論—変わりゆく街、受け継がれる気質』(せりか書房、2019.12)、同論文賞として、佐藤将「大都市圏近郊における完結出生力の空間構造—川崎市を事例に—」(『日本都市学会年報』第 52 号、2019.5)、同特別賞(まちづくり賞)として、北原啓司<コミュニティ FM によるまち育ての継続的実践—20 年を超える FM 番組「まち育てないと」の取り組み>を決定しました。

つづいて九州都市学会からの提案に基づき、日本都市学会特別賞(外国語著作賞)の新設を決定し、同規程を制定しました。あわせて日本都市学会賞(奥井賞)選考規程の一部修正を承認しました。

### 議題 4 年報事務局報告

中部都市学会(2020 年度年報事務局)より、年報 54 号の収支および過去の過剰残部の処分方法について報告がありました。つづいて近畿都市学会より、年報 55 号の編集方針、学術論文データベースの EBSCOhost から収録提案があったとの報告がなされ、費用、収録号、著作権等についてさらに検討を進めることとなりました。

### 議題 5 論文審査事務局報告

中四国都市学会より、分野別、地域都市学会別の論文審査委員の構成について報告があり、2022 年度に予定されている審査委員の入れ替えについて報告がありました。

### 議題 6 第 68 回大会について

近畿都市学会より、第 68 回大会準備状況について報告がありました。学会ホームページの大会特設サイトに近日中にプログラムをアップロードすることなどが報告され、オンラインでの学会賞授与式の運営方法について意見を交換しました。

### 議題 7 第 69 回大会について

中部都市学会より、第 69 回大会について報告がありました。2022 年 10 月下旬に名古屋学院大学を会場に開催を予定していること、また 1 年前にならないと会場の確定ができないため、会場・日程を確定させてから改めて報告することになりました。

### 議題 8 規程改定について

本部事務局より、日本都市学会会則改正(2020 年)に伴う規程改定について提案があり、原案通り決定しました。つづいて 2020 年総会で決定した倫理委員会の発足に当たっての申し合わせを決定し、第 3 回理事会で同委員会を発足させることになりました。

### 議題 9 本部事務局より

本部事務局より、理事会名簿および理事の出欠について報告がありました。

### 議題 10 その他

(1)次回理事会を 10 月 20 日(水)18時から Zoom により開催することが決まりました。

(2)日本都市学会の各地域都市学会分担金の納入について、近畿・中部・関東の 3 つの都市学会は前年度納入金の半額を前期に納入し年度末に精算、その他の地域都市学会は年度末に一括納入することで合意しました。

## 2021 年度第 3 回理事会報告

2021 年度第 3 回理事会は、2021 年 10 月 20 日(水) 18時から Zoom によるオンライン会議で開催されました。例年は、大会の 1 日目のエクスカージョン後に開催していましたが、大会がオンラインとなり、大会の少し前に開催することになりました。

出席者は、浦野正樹会長、増田聡、松村茂、熊田俊郎、大矢根淳、西野淑美、井澤知旦、磯部友彦、石田信博、佐藤彰男、山崎健、川瀬正樹、外井哲志、山下宗利、森傑、齊藤綾美、土居洋平、大塚俊幸、佐野光彦、川田力、石川雄一の各理事、松山明、吉本勇の両監事です。

議事の概要は以下のとおりです。

**議題 1 総会議題確認**

10月23日開催の日本都市学会総会の議題を確認しました。

**議題 2 年報事務局報告**

(1)年報バックナンバーの保管分を超える余剰分について、処分方法を決めました。期間を決めて希望者に無償配布(送料自己負担)することにしました。  
(2)年報をオンライン学術情報データベースに掲載することの可否を検討するため、EBSCOhostの資料を検討しました。

**議題 3 論文審査事務局報告**

2021年度版投稿要領と投稿者カードの修正点を検討し、承認しました。

**議題 4 学会賞事務局関係**

(1)特別賞(外国語著作賞)の推薦書式を決定しました。  
(2)学会賞関係の推薦・審査・決定のスケジュールを決定しました。概要は次の通りです。

- ①学会賞(奥井賞)・特別賞(共同研究賞、まちづくり賞)は推薦を前倒しする。
- ②特別賞(外国語著作賞)は、1月10日頃に第1次エントリー、3月15日頃に推薦書類提出と2段階で推薦を行ない、3月末の役員会で選考委員の選任を始める。
- ③論文賞の事務局によるリストアップの時期を前倒しする。

(3)特別賞(学術共同研究賞)選考規程、論文賞選考規程の改定を行ないました。

(4)学会賞関係のスケジュール変更を受けて、日本都市学会賞(奥井賞)、特別賞(学術共同研究賞)、特別賞(まちづくり賞)の推薦依頼がなされました。締め切りは2022年4月末日です。

**議題 5 第68回大会について**

近畿都市学会より、第68回大会について準備状況について報告があり、運営についての打ち合わせをしました。

**議題 6 第69回大会について**

中部都市学会より、2022年の第69回大会について報告がありました。10月下旬に名古屋学院大学を会場に開催することを確認し、最終的な調整の上、総会における報告の中で具体的日程を示すことになりました。

**議題 7 日本都市学会倫理委員会について**

理事会として日本都市学会倫理委員会委員を次の通り選出しました。

松村茂(東北都市学会) 熊田俊郎(関東都市学会)  
井澤知且(中部都市学会) 佐藤彰男(近畿都市学会)  
平篤志(中四国都市学会) 外井哲志(九州都市学会)  
※任期は2021年10月20日から2023年3月31日までとなります。

**議題 8 「日本都市学会の運営課題を検討する調査委員会」について**

同委員会を、10月20日をもって解散することとしました。

**議題 9 理事会名簿について**

出欠を含め確認をしました。

**議題 10 その他**

中四国都市学会より海外特別会員制を設けることの提案があり、各地域都市学会で意見をまとめ次回理事会で意見交換をすることとなりました。

**2021年度日本都市学会役員(10.23現在)**

**会長** 浦野正樹(関東)

**理事** 増田聡(東北)、松村茂(東北)、熊田俊郎(関東)、大矢根淳(関東)、西野淑美(関東)、井澤知且(中部)、磯部友彦(中部)、石田信博(近畿)、佐藤彰男(近畿)、山崎健(近畿)、平篤志(中四国)、川瀬正樹(中四国)、外井哲志(九州)、山下宗利(九州)

**会務担当理事** 森傑(北海道)、齊藤綾美(東北)、土居洋平(関東)、大塚俊幸(中部)、佐野光彦(近畿)、川田力(中四国)、石川雄一(九州)

**監事** 松山明(中部)、吉本勇(中四国)

**倫理委員会委員が決まりました**

委員長：熊田俊郎(関東) 委員：松村茂(東北)、井澤知且(中部)、佐藤彰男(近畿)、平篤志(中四国)、外井哲志(九州) ※任期は2021年10月20日から2023年3月31日まで。

**日本都市学会年報VOL.54が発行されました**

日本都市学会年報VOL.54は2021年5月31日に発行され、会員各位に送付されました。本号は、特集「新型コロナウイルス感染状況下に生きる」にて第67回大会シンポジウムでの各地域都市学会からの7名による話題提供の内容が収録され、さらに査読付き論文17編、研究論文4編、学会の諸記録などが掲載され、総ページ数約290ページになっています。

学会員以外でもご希望の方には1冊3,000円でお頒けしております。注文は年報担当事務局まで。

## 2022 年度学会賞等を募集しています

2022 年度の日本都市学会賞（奥井記念賞）および日本都市学会特別賞（学術共同研究賞、まちづくり賞）の募集が始まっています。学会賞担当事務局から各地域都市学会事務局あてに推薦依頼が送られていますので、各地域都市学会では、現物 7 部（献本）および推薦理由を添えて 4 月末日までに学会賞担当事務局まで送付して下さい。なお、7 部の献本が困難な場合、2 部以上の献本、残りは借用でお願いいたします。

6 月から選考委員の選考作業が開始され、9 月開催予定の選考委員会で選考結果をとりまとめ、理事会において授賞が決定されます。

## 年報バックナンバーを無償配布しています

日本都市学会年報の一部のバックナンバー（本学会ホームページ参照）を、希望される会員に無償で配布しております。配布を希望される方は、下記のとおりメールに必要事項をお書きのうえお申込みください。

対象：日本都市学会会員

申込先：日本都市学会 年報事務局 在庫整理係  
(chubutoshi@isc.chubu.ac.jp)

必要事項：希望する号数、冊数、送付先（宛名、住所、電話番号）

受付期間：2022 年 5 月 31 日（火）まで延長します。

備考：着払いでお送りしますので、送料は申込者においてご負担ください。

## 分担事務局

### ■ 本部事務局（関東都市学会）

〒112-8606 文京区白山 5-28-20 東洋大学社会学部 西野淑美研究室内

事務局長：熊田俊郎 e-mail：info@toshigaku.org

### ■ 年報担当事務局（近畿都市学会）

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬 518 神戸学院大学総合リハビリテーション学部 佐野光彦研究室内 TEL&FAX：078-974-1868

e-mail：micco.sano@gmail.com

### ■ 学会賞担当事務局（東北都市学会）

〒981-8551 仙台市青葉区国見 6-45-1 東北文化学園大学現代社会学部 齊藤綾美研究室内

TEL：022-233-6096

e-mail：tohoku.toshi@gmail.com

### ■ 論文審査担当事務局（中四国都市学会）

〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1

岡山大学大学院教育学研究科 川田力研究室内

TEL：086-251-7617

e-mail：tkawada@okayama-u.ac.jp

## 地域都市学会事務局

◎北海道都市地域学会 〒062-8520 札幌市豊平区西岡 3 条 7 丁目 3-1 札幌大学 平井貴幸研究室内 TEL：011-852-1181

e-mail：hirai@sapporo-u.ac.jp

◎東北都市学会 〒981-8551 仙台市青葉区国見 6-45-1 東北文化学園大学現代社会学部 齊藤綾美研究室内 TEL：022-233-6096

e-mail：tohoku.toshi@gmail.com

◎関東都市学会 〒236-8502 横浜市金沢区釜利谷南 3-22-1 関東学院大学社会学部 小山弘美研究室内 TEL：045-786-9369

e-mail：info@kanto-toshigakkai.com

◎中部都市学会 〒487-8501 春日井市松本町 1200 番地 中部大学人文学部 大塚俊幸研究室内 TEL：0568-51-9107/FAX：0568-52-0622

e-mail：chubutoshi@isc.chubu.ac.jp

◎近畿都市学会 〒577-8502 東大阪市小若江 3-4-1 近畿大学総合社会学部 久隆浩研究室内

e-mail：info@kintoshi.org

◎中四国都市学会 〒700-8530 岡山市津島中 3-1-1 岡山大学教育学部 川田力研究室内

TEL：086-251-7617

e-mail：tkawada@okayama-u.ac.jp

◎九州都市学会 〒840-8502 佐賀市本庄町 1

佐賀大学芸術地域デザイン学部 山下・有馬・山口研究室気付 TEL：0952-28-8577

e-mail：ktoshigaku@gmail.com